

1 委員から出された意見

スマホの使用やゲームの時間を減らして、少しでも睡眠時間を確保することが学力につながると思う。そのために地域でできることを考える、あるいは専門家の話を聞く機会をつくる。
(睡眠時間の確保は学力の定着につながると思う)

2 事業名 南小学校体育館開放事業（試行）

3 事業のねらい

- (1) 「体を動かす時間をつくる」ことを通して、「メディアに触れる時間の縮減」や「十分な睡眠時間の確保」を図る
- (2) 試験的な事業として実施し、次年度以降、地域学校協働本部を通じた事業となり得るかを検証・検討する

4 事業の内容

- (1) 冬になる前の外遊びが難しい時期に体育館を開放することを通して、親子で「メディアに触れる代わりに体を動かす」「体を動かすことを通して早寝をする」機会をつくる
- (2) 「保護者と一緒に来る」「保護者と一緒に関わる」ことに抵抗感をもたない低・中学年児童を対象として実施する

5 事業実施日時・対象者

	実施日時	対象学年	対象児童数
1	12月1日（日） 13:00～14:30	南地区1年生	南小 43名 港小 6名
2	12月1日（日） 14:30～16:00	南地区3年生	南小 61名 港小 11名
3	12月8日（日） 13:00～14:30	南地区2年生	南小 69名 港小 11名
4	12月8日（日） 14:30～16:00	南地区4年生	南小 65名 港小 10名

6 体育館に入ることができる条件

- (1) 保護者が同伴（児童のみの入場は認めない ※安全の確保のため
- (2) 対象学年児童の「きょうだい（小学生・中学生・高校生・幼児）」の同伴は可とする

7 留意事項

- (1) 港小児童については上靴を持参する（保護者にも上靴等を持参してもらう）
- (2) 南小児童については、実施日前の最終登校日の下校時に、体育館開放玄関の靴置き場に上靴を置いて下校する（シャッターを閉めるため、児童玄関には入ることはできない） ※児童玄関は閉じておき、解放しない
- (3) 重大なケガ等が発生した場合は、直接救急車を呼んでもらう
- (4) AEDと簡易救急キットを体育館内に置いておく

8 その他

(1) 体育館に出しておくもの…跳び箱、マット、卓球道具、バドミントン用具 等

(2) 家庭から持参することができる用具…縄跳びの縄

※ ケガ防止の観点からボール遊びは不可とする

(3) 希望があれば、「ボッチャ」の道具を借用し、体育館に置く

(4) 鍵の解放・施錠、暖房 ON（照明 ON）を行う者…学校運営協議会事務局

※ 次年度以降、事業化するのであれば、この役割をボランティアに担ってもらう